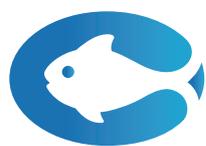


スイミーフレンズ【石川町】

令和 6 年度 / 評価表



放課後等デイサービス

Swimmy Friends

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スイミーフレンズ石川町		
○保護者評価実施期間	令和7年3月8日		～ 令和7年3月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年3月8日		～ 令和7年3月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日ごとに6種類以上の様々なプログラムを設定している ・学校や生活の中で役立てられることや、自信に繋がることを日々考案し提供している ・社会性を身に付けていくことのできる言動を常に意識できるように働きかけをしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画は立てているが、日々の成長具合や瞬間的に起こった課題点などを解決していくことができるようプログラムに取り込んでいる ・子どもたちをはじめ保護者のご感想やご意見をいただき、次に繋げている 	<ul style="list-style-type: none"> ・得意分野を活かし、伸ばしていくことができるよう、目標設定を個々に掲げていく ・地域資源の活用を増やしていく
2	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間勤務している職員が増えてきているため、状況に合わせた適切な対応をすることができる ・情報共有や共通指導が徹底されており、専門性が高くなってきている ・学校や保護者との情報共有と連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳とは別に、その日のプログラム内容・目的・ポイントなどを具体的に記載したものを、連絡帳に添付し配布している ・連絡帳にはその子の課題点とアプローチの仕方などを具体的に記載し、記載しきれない内容は送迎時やお電話にてお伝えしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を増やす ・情報交換の時間を増やす
3	<ul style="list-style-type: none"> ・人から好かれる人格形成 ・気持ちのコントロール ・前向きな気持ちや心構え ・積極性と好奇心 ・聴く力・話す力 ・全体把握・客観視 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムのSST以外の時間にも、常にSST要素を入れたアプローチ・助言・促しをしている ・昨日より今日が良くなるよう、今日より明日がさらに良くなるよう、確認作業と分析をし、次の瞬間に繋げている 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員が使用する単語や説明の仕方、促し方、ルールなどを共通にしていき、よりスムーズに療育がはいていくよう、子どもたちが混乱を招かないようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員数の確保 ・日々の指導員の男女比 	<ul style="list-style-type: none"> ・最大限調整をしているが、男女のバランスが悪い 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援 ・人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族が小さなことでも気軽にご相談していただきやすい環境や関係性に差がある ・未経験者が多い ・子どもたちに対し、偏った情報や知識で、良かれと思いついなんでもやってあげてしまうことが多く、経験の場や成長の場を奪ってしまいがちである 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員配置に余裕を持たせ、生の対応を見せながら育成していく ・研修を増やす ・情報交換の時間を増やす
3	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の内容説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模な訓練が多い ・事業所主導では様々な想定訓練ができていない(防災センターの方々のお力はお借りしている) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に訓練しているが、詳細を記載したものを配布するようにする ・ご意見をいただき参考にさせていただき、取り入れたものを含めご説明させていただく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スイミーフレンズ石川町

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 18名

回収数 18名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	7	8	1	2	狭い中でも工夫してスペースを作ってくれていると思う	活動内容やその都度の状況に合わせて工夫はしているが、体の成長と共にさらなる工夫を編み出してまいります
	2	14	2		2		
	3	12	2		4		
	4	12	2		4		
適切 な 支 援 の 提 供	5	17	1			子供の事をよく理解、その都度状況に合った支援をしてくれていると思う	引き続きスタッフ間の情報共有を密にし、高い専門性のある対応や共通指導ができるよう意識し実行していきます
	6	15	1		2		
	7	17	1				
	8	16	1		1		
	9	18					
	10	16	2			曜日ごとにプログラムが違ったり、お休みの時にはいろいろ経験させてもらえて満足しています	狙いや目的などを明確にし、様々なプログラムを組み立てているが、利用者をはじめ親御様のご意見ご感想をしっかりと聞き取り次に繋げてまいります
	11	7	4	5	2	特になくても良い	地域交流を年に何度かしているが、今後は親御様がもう少し把握しやすいよう工夫をしております
保 護 者 へ の 説 明 等	12	18					
	13	13	5				
	14	4	5	7	2		家族支援を行っているご家庭もありますが、事業所側から必要性をご確認させていただくことのできる用紙の配布をしております
	15	18				いつでも話や相談ができる状況を作ってくれている	
	16	12	4	2		いつでも話や相談ができる状況を作ってくれている	面談以外でもお気軽にご相談いただけるアナウンスをしております
	17	16	2				引き続き、共感的に支援をされていると感じていただけるよう、全スタッフで意識を高めていきます
18	3	4	8	3	特に必要性は感じません	必要性を感じるというご意見が増えた場合、イベントを企画していきたいと思っております ごきょうだいへの支援の必要性を感じた場合は、引き続き直接会話や聞き取りをしたり、助言やフォローをさせていただきます	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2				迅速にご対応させていただいておりますが、対応先からの返答待ちが長いこともありますので、目処をお伝えするなどして工夫してまいります
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1			連絡帳や送迎時に詳しく様子を教えてくれて、改善方法なども相談できて有難いです	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16		1	1		定期的にSNSに活動記録を掲載し、ホームページからもご確認いただけるようになっておりますが、再度アナウンスしてまいります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	2		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	6				面談の際に、全マニュアルを提示しご説明させていただき、ご意見をお聞かせいただき、取り入れてまいります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2		1		定期的に訓練しておりますが、詳細を記載したものを配布するようにしてまいります
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				いつも笑顔で帰宅するので楽しく通えていると思う	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				いつも細やかに対応してくださりとても感謝しています	

公表

事業所における自己評価結果

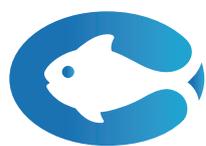
事業所名		公表日				
スイミーフレンズ石川町		令和7年3月31日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	事前に調整をかけている	急な欠員に対して余裕を持って対応できるような人員配置をしていきたい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1		パーティション等で仕切りを設けるなどしているが、さらなる工夫ができないか検討し、試みていく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		毎朝ミーティングで情報共有と共通指導について話し合いの場を設けている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1		研修は行っているが、現場ですぐに役立てられるようなオリジナルな内容を開催していきたいと考えている
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		恒例行事の他、成長や流行にも合わせ、新たなイベントやプログラムを組み込み工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	10				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1	解決困難なケースは、すぐに関係機関に相談しアドバイスを受けている	その内容を全ての職員に周知徹底できるよう工夫していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	地域のイベントに参加したり、関係性のある学童保育のイベントに参加することもあった	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1	参加している(情報共有している)	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		児童発達支援仮責任者が頻繁に面談・家庭訪問・父母との交流ができていた	再始動していけるよう調整していきたい
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	3	必要に応じて、保護者同士の交流の場を提供することはある	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5		個人情報漏洩や普段と違う環境での混乱がないよう配慮し検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	防災訓練には力を入れている	ご家族への周知や相談の場を設けていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		研修やミーティングで子どもたちへの接し方や対応の仕方を学んでいる	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10				

スイミーフレンズ【滝頭】

令和 6 年度 / 評価表



放課後等デイサービス

Swimmy Friends

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	スイミーフレンズ滝頭		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 15日	～	2025年 3月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 3月 15日	～	2025年 3月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者さんに寄り添った支援・指導による、満足度の高さ	ご利用者さんの特性や性格を踏まえた上で、成功体験に繋げるための関わり方をしています。例えば、何か問題行動がを発生した際には、その行動だけに目を向けるのではなく、行動に至った経緯や理由を導いて、様々な角度から考察します。	目先のことだけではなく、先を見据えた支援（1年後、3年後、そして将来のこと）をご利用者さん一人ひとりに合わせた内容で行うことで、より質の高い支援を提供できるようになる。
2	保護者からの相談等の問合せへの丁寧な対応	保護者からの相談事、悩み事を寄り添って拝聴し、放課後等デイサービスという立場において出来る限りの支援・助言等をさせていただいております。ただ、満足度のための寄り添いではなく、対応する職員の自主的なはたらきかけによる『寄り添い』であることが大前提です。結果を意識した言動ではなく、利用者のため、保護者のため、という内発的な気持ちによるものであり、結果的にご利用者さんや保護者からの評価に繋がっているとすれば、有難い限りです。	・丁寧な対応を今後も継続していく。 ・限られた職員だけではなく、一人でも多くの職員が高い水準での対応が出来るよう、教育をしていく。
3	充実した企画	常に、ご利用者さんが楽しめるもの・喜ぶものを探求しています。人気のある企画については同じような内容で企画を立てることもありますが、レクなどの遊びや外出、制作、調理、運動、SSTなど、様々な視点から企画を考えています。	企画やプログラム中におけるケガや事故等には十分配慮し、安心安全に取り組んでいけるよう、継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の狭さや清潔感	複数の保護者または職員が評価表に記入しているように、活動スペースの狭さについては、構造上仕方のない面もあります。細長い形状であること、活動スペース内で、立つ位置や向く方向によっては死角が生まれること、床や壁の劣化などの要因が考えられます。	テーブルの位置や座る方向、集まる場所を工夫することで、そのスペース内で、例えば『ここは今遊ぶ場所、あっちは学習する場所』のようにご利用者さんにも理解できるようなスペースの区分けをすることで、ご利用者さん同士がお互いに気持ちよく過ごせるスペースを提供できたらと考えています。また、日々の清掃は勿論ですが、著しく劣化が進んでいたり破損しているか所については、補修や修理、交換などの対応をすることで、清潔感ある活動スペースを保てるよう努めていきます。

2	支援終了後の振り返りと意見交換の時間確保	<p>日々、細かなコミュニケーションをとり、些細なことでも情報共有することを心がけておりますが、運営上の事情により『支援後の振り返り』としての時間の確保が難しくなっています。</p>	<p>支援後の、帰りの送迎時など、職員同士での会話の中で、その日の活動や支援を振り返ることは日常的に行っています。ただ、その時間を『ただの何気ない会話』と捉えるのか、『次の支援に活かす為の大切な振り返りの時間』と捉えるのか、によって話をしている時間の使い方の意味合いが変わって来るかと思えます。今一度、職員全員に対して『小さな会話ひとつでも、大切なコミュニケーションである』ことを認識してもらい、時間がない中だからこそ、そのような会話ひとつひとつを無駄にしないようにしていくことを再確認していきます。</p> <p>尚、年間で数回の職員ミーティング（所要時間1時間半程）はこれからも、今後も、継続していき、日々の業務や支援についての振り返りや再確認を職員間で行ってまいります。</p>
---	----------------------	---	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スイミーフレンズ滝頭
------	------------

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 32名

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2	1	1	・狭いと感じる。静かに落ち着いて過ごせる場所と元気に活動する場所等、分けられると理想。	・建物の構造上やむを得ない点がありますが、活動スペースの使い方を工夫し、より安全に過ごせるよういきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	1	3		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	0	6	・建物の構造的にバリアフリーは難しいと思うが、室内の物の配置等、工夫されていると思う。	・建物の構造上やむを得ない点がありますが、活動スペースの使い方を工夫し、より安全に過ごせるよういきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	10	3	0	3	・活動中の様子をこっそり見学したい。	・見学につきましては受け付けております。日時や方法については、お問合せいただいた際に相談させていただきます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0	・理解するのが難しい我が子を、よく理解して頂いて、寄り添ってくださる。	・お子さま一人ひとりの性格や特性を理解した上で、それを踏まえて、成長に繋がられる支援をこれからも心がけて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	1	・個別支援計画が（何を指すのか）分からない。	・定期的に作成している、支援内容や支援目標等を記載した書類です。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1	0	3	・ガイドラインが（何なのか）分からない。	・厚生労働省による、放課後等デイサービスを実施するに当たって必要となる基本的事項を示すもの、とされています。このガイドラインに沿って運営をしています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1	・個別支援計画が（何を指すのか）分からない。	・定期的に作成している、支援内容や支援目標等を記載した書類です。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	0	・新しい企画にチャレンジしたり、工夫して頂いている。	・お子様の新しい発見につながる経験の為に、様々なものに挑戦しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	2	4	6	・近隣の公演で居合わせた方との交流がある(あった)と聞いている	・事業所の外であつても、入に声をかける等の『他者との交流』をスムーズに行えるよう、これからもサポートしていきます。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	2	2	0	・個別支援計画が（何を指すのか）分からない。	・定期的に作成している、支援内容や支援目標等を記載した書類です。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	3	5	・クリスマス会等で日頃の様子が分かる	・感染症対策や防犯の都合上、機会は少ないのですが、お子さまの様子を保護者の方々に見ていただける機会を設けています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	1	0	0	・連絡帳と、送迎時に話が出るので様子が分かる。 ・迎えに行くと（送迎時等）、その日の様子を教えてくれる。	・連絡帳や送迎時のお伝え以外にも個別でご連絡をいただいた場合にはその都度お話をさせていただいています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3	0	0	・相談すると快く対応してくれる。	・これからもお子さまを第一に考えた対応を心がけていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2	0	0	・相談すると快く対応してくれる。	・これからもお子さまを第一に考えた対応を心がけていきます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	4	7	・あると嬉しい	・保護者会の開催はしておりませんが、多くの保護者様から声が上がった場合には検討させていただきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	1	・家庭での様子と、事業所内での様子で気になることをすぐに相談できると思う。 ・周知、説明はありませんが、相談にのってくれる。	・ご相談については、随時、送迎時や電話等で受け付けています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	1	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	1	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	2	0	0	・本人の体調、気分で波があり、大好きな先生や友達がいると安定しますが、苦手な人がいると行き渋りがある。また、騒がしい環境でストレスを発症しやすいので、落ち着いて過ごせる部屋があるとありがたい。	・『安心・安全』を心がけています。お子さまにも、無理なく、可能な範囲で自発的に利用していただけるよう、これからも工夫して支援していけたらと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	2	0	0	・友達がいると、家庭では出来ない遊びができることが楽しいようだ	・お子さま同士の関わりや好きな遊びを通して、また来たいと思ってもらえる事業所にしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	・大変満足している ・スイミーの方々に、子ども私(保護者)も支えられている ・とてもよく支援して頂いている。	・あたたかな言葉、誠にありがとうございます。これからも、保護者やお子様にも満足していただける『場所』や『人』として、運営していきたいです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	スイミーフレンズ滝頭		公表日		2025年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	4	・時々（子供の人数が）多いと感じる ・利用者の人数にもよるが、スペースが狭いと感じることが多い	建物の構造上、難しい点もありますが、活動スペースの使い方を工夫して、安心・安全に過ごしていける場所にしていけたらと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・日やプログラムの内容にも寄るが、職員が足りていないと感じる時がある ・室内移動や車両移動等性別を考慮して配置している	・可能な限り、配置の人数や性別を考慮して配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・分かりやすい構造とは言えない。 (建物の独特な作りによる)	・建物の構造上難しい点はありませんが、職員からの声掛けや視覚的情報による伝え方などの工夫で、カバーしていけたらと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・日々の掃除はしっかり行っているが、老朽化等により限界がある。清潔とは言えない。	・建物の老朽化は仕方ないですが、『清潔感』は課題と思います。毎日の掃除は勿論のこと、整理整頓を心がけ、心地よく過ごせる空間づくりをしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・階段下等に対応しているが、しっかりした部屋ではない為（こども達が）かわいそうに感じる。	・個別の対応ができる空間はあり、子どもたちから何か要望があったり、何か言いたそうな様子であれば、その気持ちを汲み取り、その都度臨機応変に対応しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	日々の児童対応やプログラムに追われることが多く、そのような意識を持つことが容易ではない。	・日々の会話や情報交換の機会を通じて、その都度計画を立て、実行したことの振り返りを行い、再度確認と調整を行って計画を立て直すサイクルを実行しています。出勤日数が少ない職員へ対しても可能な限りタイムリーに情報共有ができるよう、努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	・時々（事業所内にて）行われているが、外部研修等の機会があった方がよい。	・事業所で行う支援に関連した研修のお知らせを発見した場合には、参加希望の有無を確認しています。必要に応じて、受講を促す場合もあります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・外出、調理、制作等時期やバランスを考慮して行われている	・社員やパート、分け隔てなく意見は出し合って活動の内容ややり方を考えています。これからも続けていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・子ども達の意見も参考にしている	・参加する当事者であるお子さまたちの声も、参考にさせていただいています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	・送迎の終了するタイミングもまちまちなので、難しい時もあるが、できる限りの共有は行っている。	・送迎車内の会話や、保護者との会話も含めて、その日の出来事について振り返りを行っています。可能な限り、パートさん同士の会話等は必要に応じて社員にも伝わるよう声をかけて促しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	(1名未回答)	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	(1名未回答)	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・必要事項は可能な限り用紙をコピーし、ファイリングをしている	・下校時間が記載されているものをコピー取らせていただき、下校時間に変更があった場合等は保護者の方からご連絡をいただき、その時間に合わせてお迎えに上がります。 ・時間が遅くなってしまう場合等については、可能な限り早めに保護者や学校へ連絡をし、大きなトラブルにならないよう対応させていただいています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	(1名未回答) ・公園での活動以外、あまり交流の機会がないと感じる	・防犯上、外部の人や子どもの接触は難しいという都合があります。安全を確保できると判断した場合には、積極的に交流できる機会を設けていきたいと思っています。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	6	・保護者会は実施していない ・クリスマス発表会にご家族を招待し保護者やきょうだいが集まるので、今後交流が生まれたいと思う!	・希望を多数お受けした場合には、感染症や防犯上の問題をクリアした上で、保護者会等の開催を検討させていただきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・日常的に、必要のなくなった個人情報はシュレッダーで処分している。	個人情報の取り扱いについては十分に注意しております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	4		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	(1名未回答)	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	(1名未回答)	
----	--	---	---	---------	--

スイミーフレンズ【本牧】

令和 6 年度 / 評価表



放課後等デイサービス

Swimmy Friends

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スイミーフレンズ本牧		
○保護者評価実施期間	令和7年3月10日		～ 令和7年3月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年3月8日		～ 令和7年3月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	曜日毎にプログラムを設定していて、様々なニーズに対応できる	プログラムをスタッフ間で定期的に話し合い、満足度の高いプログラムに繋がるよう工夫している	プログラムの深化を図るために各種ツールの充実や幅広い情報の取得、スタッフの専門性を高めるため知識の取得に努める
2	家庭的な雰囲気の中で、安心して過ごす事のできる環境を提供している	ミーティングでのスタッフへの研修等を通してお子さんへの支援、接遇について意識づけを図っている	接遇や虐待防止などの各種研修やミーティングでの話を通じてスタッフの質の向上に努める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの年齢層が高い	・立地的に採用は掛けているが結果に繋がらず新規採用、若年層のスタッフ雇用に結びつかない	大学、専門学校等へのボランティアへの働きかけを行い、非常勤スタッフへの雇用などに繋げていく
2	Xやスイミーだより(月間予定表)での活動内容報告以外に日々の様子保護者様へ知らせる事	その日の活動の写真などを日々保護者の方にご覧頂くシステムがない	・手書き連絡帳のシステムを変更する ・今より定期的に日々の写真を印刷して保護者の方に見て頂く

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スイミーフレンズ本牧

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 42名

回収数 20名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	6	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2		2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3		4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1		2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	2				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	2		2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19			1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	3		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1			いつも楽しく飽きさせない工夫をしてくれていて感謝している	今後も様々なプログラムを構築し、創意工夫に努めます
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	2	7		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	3		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	5	7	2		家族支援プログラムに対しての情報提供に努めます
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	6	2		困った事を相談すると丁寧に対応してくれる	今後も保護者の方に安心して頂けるように努めます
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2				『共感的な支援をされている』と感じて頂けるように全スタッフで今後も意識を高めていきます
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	5	8	特に交流を求めています		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2		3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18		1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	2		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	4		6		ご見学や面談の際にマニュアルをご覧頂いたり、来所された保護者の方が分かりやすいように提示をする、Xなどで紹介をするなど周知の方法改善に努めます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1		1		定期的に訓練しておりますが、情報発信の工夫に努めます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	3		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	3				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1			先生に良くして頂いているのは分かるが、本人に行き渋りがあり実状が分からない	安心感を持って通って頂けるよう、より良い支援技術の獲得に努めます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1				

公表

事業所における自己評価結果

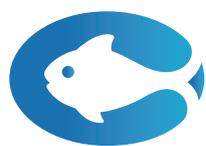
事業所名		スィミーフレンズ本牧				公表日	令和7年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	2			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	15			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	14			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	13	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	14	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	2	やっているか分からない	スタッフへの周知を強化していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	14	1	やっているか分からない	スタッフへの周知を強化していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15				

スイミーフレンズ【南区役所前】

令和 6 年度 / 評価表



放課後等デイサービス

Swimmy Friends

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スイミーフレンズ南区役所前		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 10日		2025年 3月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		2025年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用いただいているお子さまの様子や状況について保護者の方と情報共有し、共通理解を持つことができている。	連絡帳だけではなく送迎時の申し送り時にお子さまの様子を直接お伝えしている。 必要に応じて、電話面談や直接面談を行っている。	利用日数の関係などで、連絡帳や送迎時の情報共有の機会が少ない保護者の方とも十分な情報共有の機会が持てるよう工夫していく。
2	事業所内の環境は、はお子さまがわかりやすく構造化されている。	学習やプログラムを行うスペースと自由遊びのスペースとがエリア分けされており、活動の切り替えをわかりやすくしている。	宿題に取り組んでいる最中に自由遊びのスペースが目に入らないようにする等、更なる工夫をしていく。 クールダウンできるスペースを充実させていく。
3	お子さまに安心して通所していただき、多くの保護者の方にご満足いただいている。	お子さまの意思決定を重視し、必要に応じて個別の対応で本人の意見を引き出すよう努めている。 トラブルがあった際には早い段階で解決へと導き、不安を解消して通所できるようにしている。	話すことが得意でないお子さんに対して、職員の意思決定支援の技術を高めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応についての、保護者への共有が不十分である。	利用日数や欠席状況などによって、避難訓練に参加できていないお子さんがいる。 事業所に設置されている各種マニュアルについて、保護者に周知されていない。	避難訓練の実施回数を増やし、全員が参加できるように計画する。 毎年年度初めに、非常時の対応と取り組みについて保護者に周知する。
2	保護者同士の交流の機会を作れていない。	コロナなど感染症防止の観点からこれまで保護者同士の交流の機会を作ってこなかったが、これからは家族支援の観点からも機会を設ける必要がある。	保護者の方に向けた発表会の実施等、保護者が参加できるイベントを企画していく。
3	家族支援プログラムやご家族向けの研修会などの情報提供が不十分である。	ご相談のあったご家庭中心の情報提供となってしまう。	家族支援プログラムやご家族向けの研修会などの情報を積極的に取りに行き、チラシ等を使って広くご家庭に周知していけるよう努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スイミーフレンズ南区役所前

公表日 2025年3月31日

利用児童数 23名

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1		1	普段施設の見学をする機会がないので、わからない。	最初の見学だけでは事業所の様子を十分にはお伝え出来ないので、利用開始後も気軽に見学に来ていただけるようにする。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11		1	1	学習スペースと遊びのスペースが分かれていて良い。	今後も事業所内のエリア分けを行い、お子さまたちにわかりやすい環境づくりをしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				1	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12		1		親の要望を反映してくれていると感じる。	今後も面談を通して保護者のニーズに応えられる個別支援計画をたてていく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11		2			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9		1	3		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	4	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	5	4			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1	1	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2	1	5	まだ避難訓練に参加したことがないと子どもから聞きました。参加させてほしいです。	利用日数にかかわらず、全員が避難訓練に参加できるよう計画をたてていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1	1	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
スイミーフレンズ南区役所前		2025年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	今後も事業所内のエリア分けを行い、お子さままた活動状況によってお子さまたちにわかりやすい環境づくりをしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1		静養室を、より使いやすくしていく工夫が必要。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		定期的にパート職員を含めた全スタッフを対象にミーティングを開き、共有している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		今後、積極的に機会を設けていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10			
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4		送迎や退勤時間の関係でその日のうちに振り返りを行うことが難しい日もあるので、申し送りノート等を積極的に活用していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	10			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	3		近隣の公園に遊びに行った際、地域のお子さんたちと一緒に遊んでいる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4		家族支援プログラムの情報を積極的にとっていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6		父母会等を作っていないので、ご家族が参加できるイベントを企画していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		月に1回のお便りの配布を行い、活動概要等を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		地域住民を招待する行事は行っていないので、企画を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3		周知が十分でないご家庭もあると感じる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10				